

6. 皮膚にぶつぶつができたとき



赤ちゃんを代表として、こどもの皮膚はデリケートです。オムツかぶれ、湿疹、アトピー性皮膚炎、乾燥肌、すべて清潔にすることが基本です。

食物アレルギーでは、皮膚が赤くなったり、じんましんができるだけでなく、呼吸がヒューヒュー、ゼーゼーして苦しくなったり、吐いたり、ぐったりして元気がなくなったりすることがあります。

看病のポイント

- よだれやミルク、食べ物などの汚れは、なるべく早くきれいにしてあげましょう。ティッシュでふくだけでは、きれいになりません。
- こどもの皮膚は、デリケートで薄いため、強くこするような洗い方は適しません。石鹸を使い、やわらかいスポンジや親の手などでやさしく洗い、石鹸が残らないようによく流しましょう。
- オムツかぶれがひどいときは、ウンチがでるたびにシャワーや洗面台にお湯をためたりして、軽く洗ってください。
- アレルギーによって膨らんだ湿疹(じんましん)が出るときに、ヒューヒュー、ゼーゼーすることがありますので、呼吸に注意して観察しましょう。

- 皮膚の症状だけで、あわてて病院を受診する必要はありません。
- あたたまると、かゆみは増強します。冷やすと少し楽になります。

こんなときは、急病診療所などを受診しましょう

- 皮膚の症状以外に、呼吸がヒューヒュー、ゼーゼーして苦しそうなとき。
- 鼻血が止まりづらかったり、関節を痛がる時。

